

教育振興運動推進大会を開催

(三行詩入賞者および市教育委員会児童生徒表彰)



教育振興運動とは・・・

学校、家庭、住民などが総ぐるみで、地域の教育課題の解決に自主的に取り組む岩手県独自の教育運動です。昭和40年に、県内各地で地域をあげて学力向上のための取り組み(読書運動など)を行ったのが始まりで、以来、本県の教育水準の向上、子どもの健全育成、家庭や地域の教育力向上など、岩手県の教育環境の整備充実に大きな役割を果たしています。

28年度市教育振興運動推進大会が2月26日、安代小学校で開催され、市民の皆さんや関係者ら約270人が出席しました。

平館高校発表

始めに平館高校生徒会執行部が、学校紹介や創立70周年を迎える平成30年度入学生から着用する新しい制服の基本デザインが決定したことなどについて発表。続いて同校家政科学科の代表者が、28年度に県立博物館からの依頼で取り組んだ近代女学生装束の制作や一般市民を対象とした紫根染め体験教室の開催など、地域に根ざした家庭クラブの活動について紹介しました。

教育振興運動実践発表

平館高校の発表に続き、寄木実践区が、実践班ごとに話し合い目標を定め実施した「夏休みノーメディアデー」の取り組みや国体歓迎も兼ねて実施した「ジャンボかぼちゃコンテスト」の活動などを紹介。また、安代実践区は各班ごとの教育振興運動を紹介し、子どもの人数減少による組織の維持や小学生に限った活動になつてしまいがちな点など共通課題があることを示しながらも、「地域とのつながりの強いコミセンとの協力

を工夫することで活動に広がりがあるのではないか」とこれからの方向性を提案しました。



浅沢神楽を披露する安代実践区のメンバー

発表について、盛岡教育事務所の熊谷浩二社会教育主事は「伝統芸能の伝承や地元企業との学習会など地域の特色や人材をうまく利用して取り組んでいる。次世代の子どもを育てていくうえでとても大切なこと。今後も地域を巻き込み一つ一つの活動を大切に続けていってほしい」と講評しました。

表彰式

同大会では「三行詩」入賞者の表彰式も行われました。「三行詩」とは、地域の生活の中で気付き、感じたこと、家庭での日常のやりとりから思

い付いたことを短文で表現したもので、28年度は779作品の応募がありました。

表彰式では、市教育振興運動推進協議会の宮野朋士会長から入賞者に賞状と記念品を贈呈。その後、協議会長賞と金賞の受賞者が、自身の作品を朗読しました。

受賞者は、次のとおりです(敬称略、学年などは当時のもの)。

◎28年度三行詩入賞者(金賞以上)

- 【協議会長賞】勝又愛莉(松尾中1年)
- 【金賞】▼小学校低学年 立花蒼太郎(安代小2年)▼小学校高学年 伊藤聖哉(平笠小6年)▼中学校 伊藤千輝(西根中1年)▼高等学校 工藤蓮也(平館高1年)▼市民 葛清子(松野実践区)

なお、同大会では、28年度に活躍した市内児童・生徒の表彰も行われました。受賞者は、次のとおりです(敬称略、学年などは当時のもの)。

◎市教育委員会児童生徒表彰

- 【文化部門】 ◆個人 村上愛華(西根中3年)、澤口奈那(同中3年)
- 【スポーツ部門】 ◆個人 伊藤光希(寺田小4年)、遠藤愛美(西根中1年)
- ◆相撲競技、小林龍尚(松尾中3年)、森冬姫子(同中3年)◆スキー競技
- ◆団体 大更小相撲部、西根第一中相撲部、安代中野球部